



平成 29 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 日本マニュファクチャリングサービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 文明
(コード：2162、東証 JASDAQ)
問合せ先 執行役員コーポレート本部長 中村 新
(TEL. 03-5333-1711 (代表))

営業外費用及び特別損益の計上に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）において、営業外費用（為替差損）及び特別利益（固定資産売却益）・特別損失（子会社清算損）を計上しましたので、お知らせいたします。

なお、平成 28 年 5 月 13 日公表の平成 29 年 3 月期通期連結業績予想（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）に変更はありません。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上

主に海外子会社への貸付金に対する評価替え及び海外子会社間の取引等により、為替差損768百万円を営業外費用に計上しております。この差損は、第 4 四半期に、12月決算の海外子会社において2016年10月から12月の為替差益が見込まれることや、貸付金の回収や資金調達におけるマルチカレンシー化等の取り組みを進めていることもあり、平成29年 3 月期通期での為替差損は大きく改善する見込みです。

2. 特別損益の計上

当社は、経営資源の最適配分及び財務体質の改善・強化を目的に、資産効率の改善を進めており、当第 3 四半期において、下記のとおり特別損益を計上しました。

(1) 特別利益（固定資産売却益）の計上

平成 28 年 7 月 14 日開示のとおり、当社子会社株式会社テーケィアール（TKR）の固定資産売却を行い、これに伴う固定資産売却益 582 百万円を特別利益に計上しました。

(2) 特別損失（子会社清算損）の計上

平成28年12月16日開示のとおり、当社子会社志摩電子（深圳）有限公司の解散を決定し、中国における生産については、TKRグループの中宝華南電子（東莞）有限公司に集約しました。これに伴う費用224百万円を特別損失に計上しました。

3. 今後の見通し

上記による当第 3 四半期累計期間業績への影響等につきましては、本日公表の「平成 29 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

また、平成 28 年 5 月 13 日公表の平成 29 年 3 月期通期連結業績予想に変更はありません。

以 上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。